

《施工要領》

ビックワン BGS タイプ(ステンレス)

(金属系アンカー／ウェッジ式)

1. はじめに

本製品は金属系アンカー ウェッジ式のビックワン BGS タイプ(ステンレス)です。

本体をハンマー等で打ち込み、トルクレンチで規定のトルク値までナットを締め付ける事により、本体が引き上げられ、テーパに沿ってウェッジが拡張し、アンカーがコンクリートに固着されます。

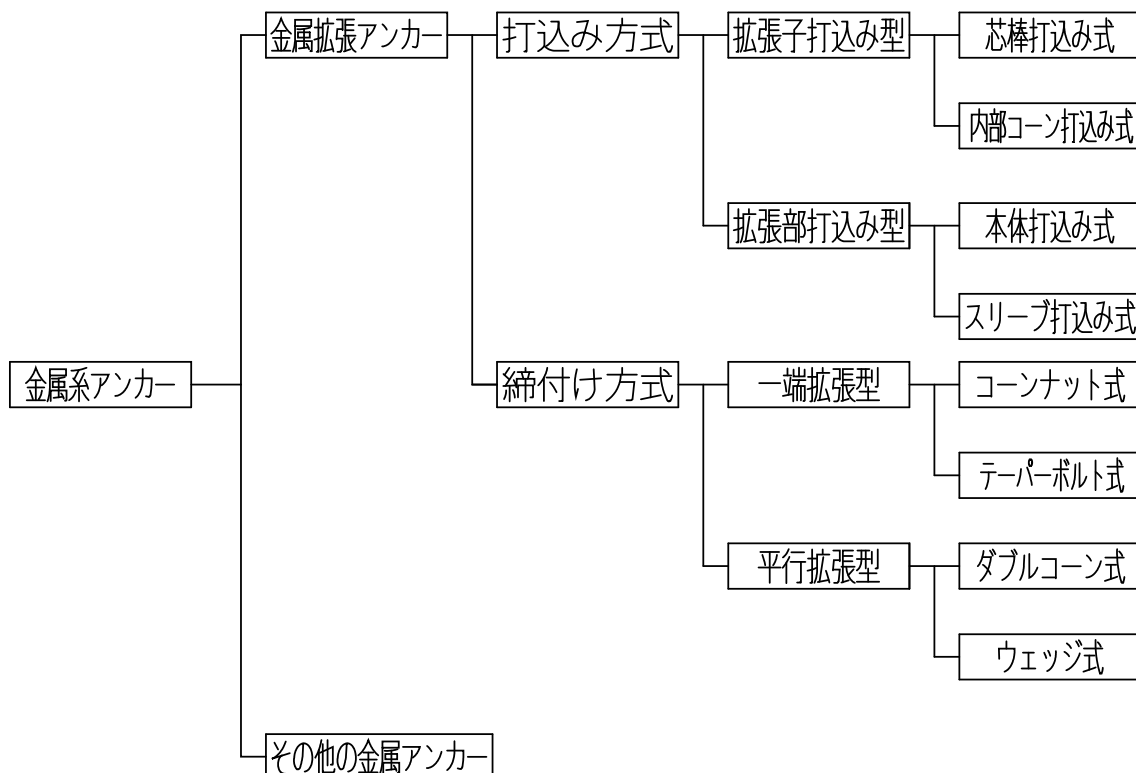


図 1. 金属系アンカー系統図

本「施工要領書」はユニカ金属系アンカーのご使用に際し、アンカー施工の安全性と確実性を確保する事を目的としています。

ユニカ金属系アンカーの施工に際しましては、本施工要領書を熟読賜りますようお願い申し上げます。

2. 施工

2. 1 施工仕様

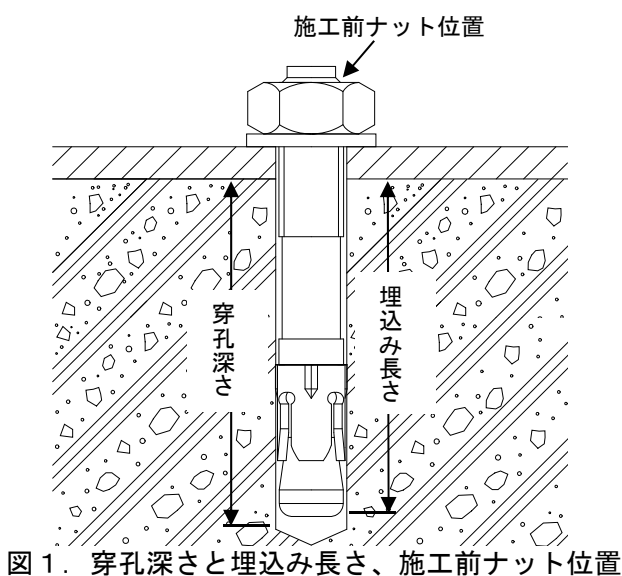
下記に示す仕様にて施工を行って下さい。

表 1. ビッグワン BGS タイプ (ステンレス) 施工仕様一覧

品番	ねじ径 (外径)	全長 (mm)	頭部印	ねじ長 (mm)	最大使用厚 (mm)	穿孔条件(mm)		埋込み長さ (mm)
						穿孔径	穿孔深さ	
BGS-860	M8	60	B	25.0	5	8.0	52 以上	43
BGS-1070	M10	70	C	26.5	4	10.0	60 以上	52
BGS-1080		80	D	36.5	13			
BG-S1090		90	E	46.5	22			
BGS-1280	M12	80	D	29.0	4	12.0	68 以上	61
BGS-1290		90	E	39.0	12			
BGS-1210		100	F	49.0	22			
BGS-1212		120	H	69.0	42			
BGS-1612	M16	120	H	59.0	25	16.0	80 以上	71

表 2. ねじ径に対するナット二面幅と締付トルク

ねじ径	M8	M10	M12	M16
ナット二面幅	13mm	17mm	19mm	24mm
締付トルク	15N・m	30N・m	45N・m	100N・m



⚠ 注意事項

締め付け前
 締め付けによるナットの移動量が判
 るように、アンカー本体頭部のテ
 ーパー端部にナットを合わせてか
 ら施工してください。

↓

施工確認
 ナット締め付け完了時、締め付け前
 に対してねじ部がナット高さ1
 個分以上出た場合、そのアンカ
 ーは使用しないでください。

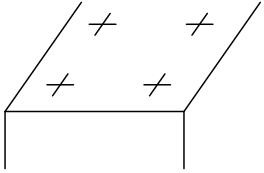
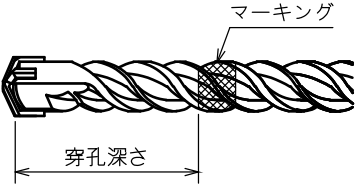
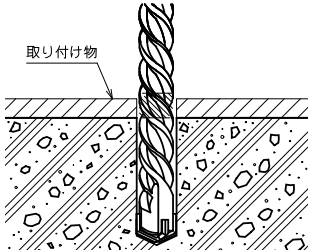
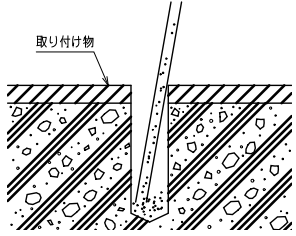
使用しない

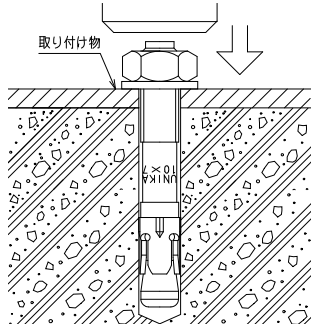
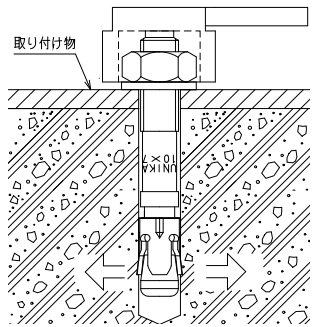
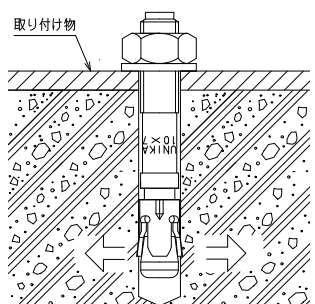
2. 2 母材

ユニカ金属系アンカーは普通コンクリート、石材への施工が可能です。

2. 3 施工手順

表3. ビッグワン BGS タイプ (ステンレス) 施工手順

	施工手順	注意事項
①	墨出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に墨出しを行います。 ・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。
②	ドリルビットへのマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前述の施工仕様に合った径のドリルビットを選定します。 ・ ドリルビットの肩から穿孔長を測り、ビニールテープ等でマークします。
③	母材へ下穴の穿孔 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨出しを行った位置に取り付け物の上からまたは母材へ直接穿孔を行います。 ・ 穿孔は施工面に直角になるように行います。
④	下穴の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集塵機、ブロワー等で下穴の切粉を除去します。 ・ 下穴に切粉が残りますと不具合が発生する可能性があるため、確実に除去してください。

<p>⑤</p>	<p>下穴へのアンカーの挿入</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンカー本体頭部のテーパ一端部にナットを合わせてから打ち込んでください。 ・ アンカーをハンマー等で叩き、ナットが取り付け物に接するまで挿入してください。 ・ アンカーのサイズにより適にハンマーの重さを変更してください。 ・ 取り付け物や母材の仕上げ材がある場合は、その厚さを考慮して、埋込み長さを調整してください。 <p>* 必ず、正常な母材にアンカー埋込み長さが埋込まれるように施工してください。</p>
<p>⑥</p>	<p>ナットの締め付け</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トルクレンチで規定のトルク値までナットを締め付けてください。 <p>* ナット締め付け完了時、締め付け前に対してねじ部がナット高さ 1 個分以上出る場合、そのアンカーは使用しないでください。</p>
<p>⑦</p>	<p>施工完了</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェッジ3面が本体テーパに沿って拡張し、施工完了。

3. 取り扱い上の注意事項

3. 1 ご使用になる前に

3. 1. 1 取り付け面および取り付け物の確認

施工面、母材などについて以下の項目をご確認ください。

- ① 取り付け面が均一な平面であること。
- ② 取り付けの対象となるコンクリートは JIS で規定されている普通のコンクリートであること。
- ③ 取り付け物と取り付け面にすき間のないこと。
- ④ 取り付け物とナット、ワッシャーの間にすき間のないこと。
- ⑤ 仕上げ材の有無および、その厚さの確認。

※①②③④に該当しない場合、当アンカーを使用しないでください。

3. 1. 2 アンカーの点検

ご使用前に以下のようなアンカーの損傷が見られる場合は、使用を中止し現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

- ① 本体やナットねじ部のへこみ、欠け等。
- ② その他アンカー本体の損傷。
- ③ ウェッジ部のへこみ、欠け等。

※トルクが正常に掛らないなど安全に施工を行えない恐れがあります。

3. 2 安全に関する注意事項

- ① 施工時は必ず安全メガネ、ヘルメットなど保護具を着用してください。
- ② 下穴の切粉は集塵機またはブロワーできれいに取り除いてください。
- ③ アンカーの全長は取り付け物の厚さや、仕上げ材の厚さを考慮して選定し、これらの厚さに応じて埋込長さを調整してください。
- ④ 下穴への打ち込み前にアンカー本体頭部のテーパ端部にナットを合わせてから施工してください。
- ⑤ 施工はトルクレンチを用い、規定のトルクで締付けてください。

3. 3 異常に対する処理

施工中に次のような異常が発生した場合、ただちに作業を中止し、現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

- ① アンカー本体が正常に挿入できない。
- ② アンカー本体の損傷。
- ③ 規定のトルク値が出ない。

3. 4 その他

本製品は金属製のため、使用環境によっては腐食の恐れがあります。ご考慮ください。